

緑育会通信 第19号

疾風に勁草を知る

理事長 菅谷 定彦



公益財団法人「交通遺児育英会」を清水会長、菅谷理事長のコンビで運営していた平成26年の初頭、清水先生からの「自分が理事長をしている渡辺学園の経営も引き継いで欲しい」との御要請を受け、同年3月監事に就任、本年4月1日に後任理事長に就いた。以来、先生や学生、緑窓会、後援会などでお話していることが三点ある。

第一点は、校祖、渡邊辰五郎先生が明治14年「女性の自主自律」という先見性の高い建学の精神の下で、設立された当学園が一貫して推進して来た教育職をはじめとした専門性の高い職を身につける学生教育は、いまさらに大きく花を開きつつあるという点だ。「男女雇用機会均等法」成立30周年の今年は、「女性活躍推進法」も制定され、女性のわが国社会での活躍の場は広がりつつある。東京家政大学を中核とする当学園にとり追い風が吹いている中、先生、学生そして関係者は自信を持って日々を過して欲しい。何よりも渡辺学園全体の教育の質をあげ、学生・生徒が生き活きと次のステップに進めるようにしていただきたいと考えている。

とはいえわが国の少子化の急進展で大学を受験する18歳の人口が120万人を割り込みその後も減少の一途をたどる平成30年以降、大学、特に私立大学は厳しい生存競争にさらされることになる。これが第二点である。いわゆる2018年問題の大嵐はその後勢いを増し続け、中国の後漢書にある「疾風に勁草を知る」時代に突入することになる。この激動期を勝ち抜くには「自主自律」教育のレベ

ルを先生方の御尽力によって一段と引き上げると共に、年々増加している学園の支出増を抑え収支のバランスをとることに努め、現状を改善して財政基盤を強固にしなければならない。

特に少子化の影響の大きい附属中・高校においては、生徒数の確保、収容定員充足率は喫緊の課題である。平成25年度に「附属女子中学校・高等学校将来計画検討委員会」が発足し、学園としての検討が始まった。改革は、平成27年度から中高一貫教育、平成28年度から「躍進i教育」がスタートし、授業改革を中心に、アクティブラーニング・英語教育の充実・ヴァンサンカプランなど、建学の精神を基盤に学力・人間力を高め、グローバルな人材育成への取り組みが進んでいる。現況から、中高の構造改革の必要を痛感し、現在委員会を発足させ、収支の均衡を図る計画策定に取り組んでいる。

第三点は学生の礼儀作法、マナーの強化である。といっても難しい要求ではない。キャンパス内で教職員や学部の来訪者に会った時は積極的に「おはようございます」「こんにちは」と挨拶して欲しい。される方は好感を持ち、挨拶する学生自身もさわやかな気分になれるはずだ。私は幼少の頃から年長者への挨拶は当然と考えている。元学長の青木誠四郎先生の著書「若い女性」の中に“知らない人でも、時には憎らしいと思う人にもこやかに挨拶せよ。礼儀を守れ。そこにお互いの尊敬と愛の心が必ず起こる”という一文があり、今一度目を向けて渡辺学園の学生・生徒は職能レベルも高く礼儀正しく好感が持てる—そんな状況を期待して今後の学園運営に取り組む所存である。

緑育会総会・教育講演会を終えて

平成28年10月22日(土)の緑苑祭に合わせて、大学16号館2階の162D講義室で緑育会総会と教育講演会が行われました。14:00から始まった緑育会総会では理事長・学長・緑窓会長の挨拶の後、「緑窓教育会会則の改正」および「収支決算報告および事業計画・予算案」が審議され、全会一致で承認されました。なお、今後の活動について次回総会までに再検討していくことが了承されました。また、総会終了後の14:30からは、平成27年度渡邊辰五郎賞を受賞した林小春氏より「私の3.11」、緑窓会福島県支部長の中野悦子氏より「東日本大震災と原発事故被災の経験から」と題して教育講演会が行われました。総会、講演会とも同窓生の絆を深める有意義な時間となりました。

緑育会事務局

連絡先 〒173-8602 東京都板橋区加賀 1-18-1

東京家政大学・東京家政大学短期大学部 教員養成教育推進室 (緑育会事務局)

電話番号: 03-3961-0084

ryokuiku@tokyo-kasei.ac.jp

第8回 免許状更新講習を終えて

免許状更新講習内容・実施検討グループ代表 木村博人

平成28年8月16日（火）から20日（土）まで板橋・狭山キャンパスにおいて以下のように開催しました。猛暑の中、たくさんの先生方にご参加いただきましたこと報告します。

平成28年度 東京家政大学 免許状更新講習

| 領域 | 免許状更新講習の名称 | 開催日 | 時間数 | 会場：定員 | 受講者数 |
|------|------------------------------|--------------|-------|--------|------|
| 必修 | 教育の最新事情 | 8/16 | 計6時間 | 板橋：50名 | 70名 |
| | 教育の最新事情 | 8/17 | 計6時間 | 狭山：50名 | 53名 |
| | 教育の最新事情（幼稚園） | 8/16 | 計6時間 | 板橋：45名 | 60名 |
| 選択必修 | 学習指導要領の改訂の動向と学校の危機管理 | 8/17 | 計6時間 | 板橋：30名 | 39名 |
| | 学校、家庭並びに地域の連携及び協働 | 8/17 | 計6時間 | 板橋：20名 | 30名 |
| | 幼稚園を巡る近年の状況の変化と幼稚園教育要領の改訂の動向 | 8/17 | 計6時間 | 板橋：45名 | 60名 |
| | ドイツの事例から学ぶ異文化理解と地球市民を育む教育 | 8/16 | 計6時間 | 狭山：30名 | 34名 |
| | 小学校を巡る近年の状況の変化（特別支援教育） | 8/16 | 計6時間 | 狭山：20名 | 18名 |
| 選択 | 家庭科の授業づくりと教材化の視点 | 8/18, 19, 20 | 計18時間 | 板橋：60名 | 57名 |
| | 小学校教諭実践講座 | 8/18, 19, 20 | 計18時間 | 板橋：35名 | 24名 |
| | 保育のリフレッシュとスキル・アップ講座 | 8/18, 19, 20 | 計18時間 | 板橋：45名 | 61名 |
| | 多様な美術表現の実践 | 8/18, 19, 20 | 計18時間 | 板橋：15名 | 15名 |
| | 最新の英語科教育法の理論と実践 | 8/18, 19, 20 | 計18時間 | 板橋：25名 | 20名 |
| | 情報機器の高度利用 | 8/18 | 計6時間 | 板橋：10名 | 8名 |
| | 小学校理科学習の興味・関心を高める観察・実験 | 8/18 | 計6時間 | 板橋：20名 | 18名 |
| | 中学校高等学校理科の生命分野新単元 | 8/19 | 計6時間 | 板橋：20名 | 16名 |
| | レクリエーションと体づくり運動 | 8/19 | 計6時間 | 板橋：30名 | 17名 |
| | 化学ってどんな科学 | 8/20 | 計6時間 | 板橋：20名 | 20名 |

人と人をつなぐ保育の「見える化」

児童学科 准教授 堀 科

現在、多くの園で保育の可視化、つまり「見える化」の新しい取り組みが進んでいます。イタリアのレッジョ・エミリアの保育で注目されたドキュメンテーションをはじめとし、ポートフォリオ、ラーニングダイアリーといった欧米での取り組みを参考に、日本でも多くの園が取り入れ始めています。

これらの目的は、子ども一人ひとりの理解や子どもの育ちのプロセスを保護者、保育者間で共有していくところにあります。保育を他者と共有するための手法については、これまでも保育記録や連絡帳など保育者が実践してきたことではありますが、あまり表に出すものではなく、また二次的な業務といった位置にあったのではないのでしょうか。新しい取り組みでは、例えば保育者が保育中のキラリと光る素敵な場面を写真におさめ、それらに保育的な視点のコメントを加えて「展示」するなど、記録を積極的に表に出しています。また何より、展示に様々な工夫を施すなど、保育者自身が楽しみながら取り組んでいます。

保育の専門的なコメントというと保護者に理解をしていただくことがなかなか難しいということがありますが、こうした取り組みで用いられているのは抽象度の高いコメントではありません。子どもの日々の成長の姿や子

ども同士のちょっとしたやりとりなど、関わっている保育者だからこそ出会える場面や保育者の感性として素敵だと感じる場面を切り取り、わかりやすく率直に「つぶやき」として示しています。

またある園では、園内研究の素材として見える化の記録を用いています。こうした記録を積み重ねていくことで、保育を新鮮な思いをもって捉え直すことができたり、他の保育者からの多様な視点を得たりすることで保育者としての保育の専門性を高めることにつながっているようです。

こうした「見える化」は、保育の中で日々感じている子どもへの思いを自分の中だけで閉じるのではなく、保護者や保育者間で共有することで、保育を通して「人をつなぐ」ツールともなっているようです。保護者が子育てに面白さや子どもの育ちへの気付きになり、子どもと保護者をつなぎます。また、子どもに暖かなまなざしを向けてくださる保育者への信頼が増してよい関係を築き、保護者と保育者をつなぎます。そして保育者が子どもをより理解するための視点として保育者と子どもをつないでいるのです。

人をつなぎ、保育の専門性を高めるための「見える化」、みなさんの園でも取り組んでみてはいかがでしょうか。

周知の通り、公立小学校では2002年より「英語活動」（現在の「外国語活動」）が高学年の必修科目となった。今後、この科目は中学年に引き下げられ、高学年の現科目は、「英語」という教科になることが決定している。この流れを受けて、早期英語教育は重要であるという認識が高まり、児童英語・小学校英語関連の教材は巷に溢れている。本稿では、数ある教材の中から一部を紹介し、教材の使用方法などについて述べていきたい。

大型書店の洋書コーナーにはどこでも英語教育の棚がある。そこには英語の絵本が所狭しと並べられているが、一角に単語カードやピクチャーカードも取り揃えられている。カード類は児童英語の定番教材で、大きな版から手札サイズまで、用途に応じて選ぶことができる。教室で使用する際は黒板に貼って児童全員に示せるような大型サイズが良からう。グループワーク、ペアワークで使う場合は、手札サイズで良い。SCHOLASTIC社のHands-on learning colors & shapes というのがある。その中の一枚、「Rectangle & green」カードには表面に長方形の、door、envelope、refrigerator、flag、裏面には緑色の lizard、lettuce、grass、peas の絵や写真が掲載されている。トカゲの写真にはトカゲ皮のような材質（もちろんフェイク皮）が貼られている。「Cone & silver」のカードには表面に円錐形の princess hat、traffic cone、ice-cream cone、party hat が、裏面には銀色の truck、coin、foil、spoon の絵や写真が掲載されている。トカゲと同様、Princess hat の部分にはフェルト生地が施されており、その部分を手で触って柔らかな感触を楽しむことができる。It's soft. It's smooth. などと言いながら触るのであろう。ちなみにこのカードの使用対象年齢は2歳から5歳と書かれている。英語圏で販売されているものなので、上述した語彙が載っ

ているのだが、日本人学習者には馴染みのない単語が多いのがわかる。このような海外で刊行されたカードを使用する際には、語彙が日本人学習者に適しているかどうかを前もって十分に調べておく必要がある。

最近特に人気を博している教材にはデジタル教材がある。児童英語に相応しい歌やチャンツの映像入りDVDが数多く出回っている。また購入しなくてもYouTubeなどを利用して、本物（authentic）の映像、生きた英語が飛び交う映像を用いる場合も多いだろう。しかし、そのような映像を見せて自然な発話を聞き取らせることは難しい。指導者は見せたい映像に出てくる語彙を前もって指導する（pre-teaching vocabulary）などの工夫が必要である。手間暇がかかるが、本物教材（authentic material）を自身のオリジナル教材に加工する重要なプロセスである。

またビンゴカードや活動用ワークシート、出席簿に至るまで購入することが可能である。ビンゴカードは、「Draw a three by three grid.」と言ってノートに作成させることもできるが、語彙指導のために頻繁にビンゴゲームを行わせたいなら、印刷されたシートを用いる方が簡単であろう。出席簿は小学校現場であれば、小学校の出席簿で十分だが、少しでも英語の雰囲気を出す工夫がしたいなら、Attendance Card と書かれた市販の英語用出席簿を活用することもできよう。手元にあるものを見ると、9月の欄に School in September と書かれていた。4月の欄は、と見れば、Showers in April となっている。これらはいずれも日本の季節や行事に合わせて作成し直すと良い。

授業の質は、良い教材選び、教材作りに左右される。小学校の教員を目指す学生はより多くの教材に触れ、実際に使用し改良を加えて、教材を扱うことの楽しみ、奥深さを味わってもらいたい。

報 告 1 平成 28 年度既卒者進路状況（教員・都道府県別）

H28.7.1 現在

| 校種 | 都道府県別 | 合計 |
|-------|-----------------------|----|
| 小・中共通 | 東京（美術1） | 1 |
| 中学校 | 埼玉5（家庭科2、理科1、美術1、英語1） | 5 |
| 栄養教諭 | 静岡1 | 1 |
| 養護教諭 | 千葉3、愛知1、埼玉1、栃木1 | 6 |

過年度卒業生の28年度教員採用状況

卒業後、臨任等で頑張りめでたく正規採用者になることができた方々の報告をさせていただきます。中学校教諭として埼玉に家庭科2名、理科1名、美術1名、英語1名、東京に小中共通美術1名、静岡に栄養教諭1名、養護教諭は千葉に3名、愛知1名、埼玉1名、栃木1名の報告を受けております。

卒業後も現場で忙しい毎日過ごす中、目的を見失うことなく努力をし続けている姿は今後の後輩達に希望を与えてくれるものと思います。教育実習、臨任体験中先輩達から、懇切丁寧なご指導をいただいているお話を聞く度に緑育会皆様のご尽力に感謝申し上げます。

教員養成教育推進室 特任教授 山口 善子

報告 2 第 24 回 (平成 28 年度) 教員対象講習会



平成 28 年 8 月 8 日 (月) から 8 月 10 日 (水) まで、板橋キャンパスにおいて現職教員の方々を対象に「教育現場で活用できる内容」を中心に講習会を実施しました。

| 分野 | 講座内容 |
|----------|--------------------------------------|
| 保育の分野 | 子育て・乳幼児保育・教育の現状と課題 一親、保育者、教師の役割を考えるー |
| 食・栄養の分野① | おいしい調理操作のコツ |
| 食・栄養の分野② | だしのおいしい味わい方 |
| 環境の分野 | 化学へのいざない ～身近な素材を利用した化学実験の導入～ |
| 衣の分野 | 被服実習の動画教材を作りましょう |
| 心理の分野 | レジリエンス (心の柔軟な回復力) の理解と育み |

報告 3 平成 27 年度卒業生進路状況 (教員・都道府県別) H28.5.1 付

| 校種 | 雇用形態 | 都道府県別 | 合計 |
|--------|-------|---|----|
| 小学校 | 正規 *1 | 福島 1、茨城 4、埼玉 16、神奈川 3、千葉 10、東京 12、滋賀 1 | 47 |
| | 臨任等*2 | 茨城 1、埼玉 6、神奈川 1、千葉 4、東京 6、栃木 2、静岡 1、福岡 1 | 22 |
| 中学校 | 正規 | 茨城 2 (理科)、埼玉 6 (理科 1、家庭科 1、美術 3、養護 1)、神奈川 1 (理科)、千葉 1 (家庭科)、東京 2 (家庭科 1、英語 1) | 12 |
| | 臨任等 | 福島 1 (理科)、埼玉 9 (家庭科 5、美術 1、英語 3)、神奈川 1 (家庭科 1)、千葉 3 (家庭科 2、美術 1)、海外 1 (理科) | 15 |
| 高等学校 | 正規 | 埼玉 1 (家庭科)、東京 1 (家庭科)、栃木 1 (家庭科) | 3 |
| | 臨任等 | 埼玉 2 (家庭科 1、養護 1)、東京 2 (家庭科 1、理科 1)、福岡 1 (養護) | 5 |
| 特別支援学校 | 臨任等*3 | 福島 1 | 1 |

*1 栄養教諭 (栄養学科) 1、養護教諭 (心理カウンセリング学科) 2、造形表現学科 1 (東京) を含む

*2 服飾美術学科 1 (東京)、造形表現学科 1 (東京)、心理カウンセリング学科 7 (茨城 1、埼玉 1、神奈川 1、千葉 1、東京 2、栃木 1) を含む

*3 造形表現学科 1 (福島) を含む

学生支援センターキャリア支援課では、小学校教諭については児童教育学科と、その他教科については各学科及び教員養成教育推進室と連携を図りながら、学生の就職支援を行っています。小学校教諭を養成している児童教育学科正規合格者の人数は昨年に比べ 9 名増加し 43 名で、卒業生数に占める割合は今年度 50%(昨年 35%)となりました。この結果は、日頃の教育成果を証明する形となりました。また、採用予定人数の少ない福島県でも合格者があり、臨任等を含めると、小学校教諭志望者は全員がほぼ就職に就くことができました。その他の正規合格者の教科別の内訳は、

家庭科が、埼玉 2 名、千葉 1 名、東京 2 名、栃木 1 名、理科が、茨城 2 名、埼玉 1 名、神奈川 1 名、美術が、埼玉 3 名、英語が、東京 1 名、養護教諭が埼玉 1 名となっています。

今後も、支援部署として在学生からの朗報や、臨任等で頑張っている卒業生から合格の報せを聞く事が出来るよう一層の支援をして参ります。引き続き、緑育会会員の皆様にも一層のご支援とご協力をお願いいたします。

学生支援センターキャリア支援課

教育時流

教員養成教育推進室 室長 木村博人

中教審は 8 月 1 日に次期学習指導要領について審議まとめ案を公表しました。いくつかの大きな改訂の内、次の 3 点挙げさせていただきます。①小学校では外国語活動が科目に格上げされ、3 年生から導入する。②「ゆとり教育」脱却を目指すため授業時数は増加し、「ゆとり教育」前の水準に戻る。③全体を通して「アクティブラーニング(AL)」を推進する。

この学習指導要領改訂の次には教職免許法の改訂がなされるはずですが、遅くともこの冬には具体的な内容が明らかになると思います。大学の授業においても「AL」は導入・推進が図られており、教職課程の科目のみならず全学的に改革が迫られています。「AL」とは、学生の能動的で自発的な学習を促す授業学習方法のことです。発見学習、課題解決型学習、協同学習(グループディスカッション、ディベート)などはその一例とされています。

本学では、学生が授業以外で自ら学習する時間を確保するため、年間の履修登録単位数を制限することになると思われます。必然的に余裕のある時間割になってきます。1 日に 2～3 コマで土日はお休みというイメージです。しかし、授業が少なくなり、遊ぶ時間のみがむやみに増えてしまわぬように、授業外学習時間を増やす「アクティブ」な授業改革が必要です。

今回の教育改革は、カリキュラムや授業内容ばかりではなく、教員の意識や授業手法の大きな変革が求められています。